

錦町「ひみつ基地ミュージアム」に行きました

地域人権教育指導員 末永知恵美

山の中の海軍の町にしき
ひみつ基地ミュージアム

戦争中の昭和18年1月に建設が開始された「人吉海軍航空基地」のこと。ここには、終戦を迎える昭和20年8月まで飛行予科練習生の教育や特攻隊の訓練、海軍工廠など様々な役目を持つ部隊が、村一つ分の広大なエリアの中で活躍していた。しかし、終戦後この事実を知る人も減り、徐々に人々の記憶から姿を消していった。戦後75年が経った平成25年に、地元有志の調査・研究によって、当時の姿を鮮明に留める地下施設などの遺構が数多く発見された。ひみつ基地ミュージアムはそれら遺構を展示物と捉え、それらが点在するエリアをフィールドミュージアム(野外博物館)として案内する施設。

講話では、人吉球磨に航空基地が造られた理由が、基地を造る好条件が揃っていたことやパイロットの養成が必要だったことなどを聞くことができた。日本各地から約6千人の海軍飛行予科練習生(14〜18歳)が集まり、この地で生活を共にしていたそうです。

館内には、色と形から「赤とんぼ」と呼ばれた布製の翼を持つ九三式中間練習機の実物大模型が展示してありました。当時県内唯一だったコンクリート滑走路は、基地近くに住む女性や子どもたちが勤労奉仕で造ったものです。

「滑走路を造るために藪をはらって、トンネルから出る土を運んだ」と語る92歳の女性、海軍施設部設営隊で病院を造った男性、「空襲で お兄ちゃん は 跡形もなく、弟は穴が開いて…」と話す女性などを映像で見ました。

菊池市女性団体代表者会と研修してきました。館長による

地下施設は大きな防空壕の形状で、縦横につながる壁一面につるはしの跡が残っていました。



山の中の海軍の町にしき
ひみつ基地ミュージアム
ホームページ

■菊池市の農地賃借料情報

令和6年1月〜12月までに締結された賃借料の平均(10㎡当たり)は以下のとおりです。

地域	田		畑		参考賃借料 (円) (基盤作物:水稲)
	令和6年 平均 (円)	令和6年 データ数 (筆)	令和6年 平均 (円)	令和6年 データ数 (筆)	
菊池地区 平坦部	23,651	48	16,195	12	23,785
菊池地区 中山間地	22,034	12	11,721	11	21,101
七城地区	23,836	196	12,739	24	24,382
旭志地区	11,000	15	11,119	20	12,500
泗水地区	20,669	15	13,624	69	20,714

※農地法の改正により、標準小作料は廃止となっています。また、農業委員会では賃借料について関与しません

※賃借料が物納の場合は、除きます

◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 ⑬

【問い合わせ先】
観光振興課
☎0968(25)7223

◆福岡市の菊池神社
(博多合戦)



福岡市の菊池神社

「菊池神社」というと本市にある神社を指すことが多いと思いますが、福岡市にも菊池神社があります。城南区七隈にある「菊池神社」(胴塚で、12代武時を主祭神として祀っています。元弘3(1333)年、後醍醐天皇が全国の御家人に対し、鎌倉幕府打倒を呼び掛けました。これに呼応し、兵を挙げたのが武時です。博多合戦と呼ばれる戦いです。

この戦いで、武時は首を切られたにもかかわらず、それに気が付かないまま馬に乗って数キロ駆け続けたという伝説が残っています。首を失った胴体が倒れたとされる場所に、この菊池神社が建てられているのです。

護良親王(後醍醐天皇の子)の令旨・皇太子などの命令を伝えるために出した文書を受けた武時は、阿蘇氏や同じ九州の御家人である少弐・大友氏と挙兵の密約を交わしました。これに対し、九州における幕府の拠点「鎮西探題」の北条英時は、これらの動きをけん制するため御家人たちを博多に招集しました。襲撃計画が漏れていることに気付いた武時は、3月13日寅の刻(午前4時ごろ)、博多の町に火を放ち、襲撃を促す使者を少弐・大友へ送ります。ところが

なぜ武時は挙兵するに至ったのでしょうか。6代隆直の時代、やむなく平氏方についた菊池氏は平氏の敗北とともに鎌倉幕府からは冷遇され、8代能隆が所領奪還を目指した承久の乱でも敗北、本領の一部を失います。本領回復、所領拡大の好機と思われた元寇(蒙古襲来)でも、10代武房をはじめとする一族の奮闘にもかかわらず、わずかな恩賞が与えられただけでした。このような積年の幕府への反感が、挙兵へとつながったとされています。

両氏は土壇場で心変わり、幕府方に寝返りました。これに憤怒した武時は、窮地に立たされたにもかかわらず、単独で探題襲撃に踏み切ります。しかし、少弐・大友軍に背後を突かれ、袖が浦へと退却。敗北を覚悟した武時は、嫡男武重を呼び寄せ、菊池へ帰るように告げます。ともに戦うという武重を説得、一族の行く末を託し、辞世の歌を遺すと(袖が浦の別れ)、70騎あまりを率いて再び鎮西探題に攻め入りました。



「袖が浦の別れ」(市文化会館の幟帳)

地域おこし協力隊通信

九州移住ドラフト会議
今年こそ優勝目指して頑張ります!

令和4年度から参加している九州移住ドラフト会議。3年目を迎えた今回は、昨年の選手が本市の球団として参加しています。「菊池で何かをしたい!」という思いを持った市外の大学生や社会人8人が集まりました。

これまで菊池に縁もゆかりもなく、菊池のことを知らなかった都会の若い世代が、菊池にのめり込んでいく姿を目の当たりにし、3年間続けてきて本当に良かったと感じています。

今年は「人」に着目し、菊池の外からの視点で、菊池で活動している人々の話を聞き、その内容を市以外の人々にPR・紹介



菊池の魅力をPRします!

vol.77 || きくち暮らしコーディネーター

甲斐 友彦 隊員



する取り組みを進めています。今月にはクライマックスシリーズでの発表が予定されています。菊池球団の成果をしっかりアピールし、優勝を目指します!

九州移住ドラフト会議ホームページ↑

|| 「tate.base」生徒募集中!

現在、tate.base(隈府240)では、高校生の活動の他、三味線教室(小学生〜大人向け)、硬筆・書道教室(小学生向け)、アート教室(小学生〜高校生向け)を開催しています(有料)。試験を受けたり、絵のスキルを身に付けたり、三味線を新たな趣味として始めてみたり、tate.baseでいろいろなことを楽しんでもらえたらと思います。

今月から中国語教室(小学生〜高校生向け)も始まる予定です。今後、需要のあるスキルになるのではないのでしょうか。興味のある人は、インスタグラムからご連絡ください!

【問い合わせ先】地域振興課 ☎0968(25)7250